

日本RNA学会会報

No.11 (2005 年 2 月)

目	次
学会事務センターの破産に伴う対応	1
日本 RNA 学会 第 3 期評議員会議事録 (臨時)	3
日本 RNA 学会 第 3 期役員 役員会議事録	5
日本 RNA 学会 第 6 回総会報告	7
第 7 回 RNA ミーティング (日本 RNA 学会年会) の 準備状況について	8
2003 年度日本 RNA 学会収支決算報告書	9
2004 年度収支予算	11
関連ミーティングのお知らせ	12
日本 RNA 学会入会勧誘の御案内	14

日 本 R N A 学 会

(THE RNA SOCIETY OF JAPAN)

wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/

日本学会事務センター破産に関してのご報告

当学会が発足当初から会計業務などを委託しておりました日本学会事務センター（東京都文京区）の破産事件に関して、これまでの経緯と当学会の対応についてご報告申し上げます。

昨年7月に日本学会事務センターの学会預り金の不正流用が発覚し、その後民事再生法を申請しましたが、8月17日に破産宣告が出され、学会預け金の回収が実質不可能になりました。7月に開催された事務センター主催の説明会では、預り金の引き揚げをしないよう依頼があったにも関わらず、複数の学会が多額の預け金を引き上げたのが直接の原因であったようです。すでにメールなどでお知らせしましたように当学会が被った被害総額は、968,915円であり、学会資産の1/3近くを失ったこととなります。皆様からお預かりした大切な学会費をこのような形で失ったことに対して、激しい憤りを覚えております。学会の当面の活動には大きな支障はありませんが、発足後まだ数年しか経っていない当学会にとって大きな痛手であることには変わりありません。

11月29日に東京地裁で開催された債権者集会におきましては、学会事務センターの放漫経営の実態が明らかになりました。270もの学会が被害に遭い、被害総額は11億円に上ります。結局のところ、各学会からの学会費などの一時預り金を学会ごとの口座で管理せず、事務センターの口座で一括して運用し建物の建築費用（平成3年に購入した自社ビル）などに流用した借金が主な原因です。12月には法的措置を検討するため、いくつかの被害学会が中心になり「日本学会事務センター破産被害学会連絡協議会」が発足され、当学会も連絡協議会の一員として、その後の対応にあたっております。

年末には、学会事務センターの旧理事らから約5,000万円の私財を被害学会に提供したいとの申し出がありました。このことを受けて破産管財人から和解の提案があり、連絡協議会と協議した結果、「和解交渉委員会」が発足いたしました。被害総額（11億円）からすると5,000万円は微々たるものに過ぎませんが和解に応じず、刑事告発をする場合は弁護士費用を負担すること、仮に勝訴したとしても被害金が返済される見込みは全くないことから、当学会としては評議員会の判断を仰ぎ、和解に応じるとの返答を連絡協議会側に出しております。最終的には連絡協議会としての判断になりますが、結論が出ましたら後日ご報告させていただきます。

学会員の皆様には、年会費納入などの業務が一時停止し、大変なご迷惑をおかけしておりましたが、11月には(株)クバプロ内にRNA学会事務局を設置することができ、新たに会計業務や名簿管理業務を再開する運びとなりました。

このような事態を早めに察知できず、皆様方からお預かりした大切な学会費を回収できなかったことに、執行部一同大変責任を感じており、心よりお詫びいたします。

学会事務センターの犯罪的行為は非難してし切れるものではありませんが、この事件がRNA学会の今後の運営に及ぼしかねない悪影響を極力抑えるべく執行部一丸となって努力する所存です。

学会員の皆様方にはこのような事態に多大なご理解とご協力をいただきましたことを執行部を代表して御礼申し上げます。また、日本RNA学会の益々の発展のためにより一層ご助力いただきますよう、伏してお願い申し上げます。

平成17年2月15日

日本RNA学会会長 渡辺公綱

日本 RNA 学会 第 3 期評議員会議事録（臨時）
臨時評議員会（2004 年 10 月 26 日付託、10 月 27 日可決）

日本 RNA 学会の新しい業務委託先を（株）クバプロに変更するとともに、これを可能にするための本学会学会細則第 16、17 条の変更（下記）が、渡辺会長から提案された。現在滞っている業務を早急に再開するために、電子メールによる持ち回り臨時評議員会を開催した結果、全会一致で、クバプロへの業務委託が承認され、学会細則の変更が 10 月 27 日付で可決された。

日本 RNA 学会細則（変更前）

第 6 章 事務所

第 16 条 本会の事務所は次のところにおく。

〒113-8622

東京都文京区本駒込 5-16-9

財団法人 日本学会事務センター内

第 17 条 入会金、年会費は財団法人日本学会事務センター名義で発行される所定振込用紙で納入するものとする。

日本 RNA 学会細則（変更後）

第 6 章 事務所

第 16 条 本会の事務所は次のところにおく。

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 3-11-15

UEDA ビル 6F（株）クバプロ内

第 17 条 入会金、年会費は日本 RNA 学会事務局名義で発行される所定振込用紙で納入するものとする。

（庶務幹事：鈴木 勉）

臨時評議員会（2004 年 12 月 5 日付託、12 月 7 日可決）

日本学会事務センターの破産に関し、債権の回収・交渉・法的措置の検討を目的として、いくつかの被害学会が中心になり、「日本学会事務センター破産被

害学会連絡協議会」が発足した。これに、本学会が参加すべきかに関して、電子メールによる持ち回り臨時評議会を開催した結果、賛成多数で、本会に入会し、入会金 3,000 円を支払うことが決定された。

(庶務幹事：鈴木 勉)

臨時評議員会 (2005 年 1 月 21 日付託、1 月 28 日可決)

日本学会事務センターの破産に関し、2004 年 11 月に開催された債権者集会で、学会事務センターの理事らから 5,000 万円の私産を被害学会に提供したいとの申し出があった。このことを受けて破産管財人から和解の提案があり、「日本学会事務センター破産被害学会連絡協議会」と協議した結果、年末に「和解交渉委員会」が発足した。本学会が和解案を受け入れるかについての提案が鈴木庶務幹事からなされ、電子メールによる持ち回り臨時評議会を開催した結果、賛成多数で、1) 和解案に応じる、2) 預かり金の返還を受けていない学会に対して被害額に応じた比例配分を求める、と回答することが決定された。これを受け、渡辺会長名で上記内容を 1 月 28 日付けで連絡協議会宛に送った。

(庶務幹事：鈴木 勉)

日本 RNA 学会 第 3 期役員 役員会議事録

日時： 2004 年 8 月 4 日（水）午後 12 時 00 分～午後 1 時 00 分

場所： 熊本テルサ 小会議室 2

出席者

評議員： 井上邦夫（兼庶務幹事代理）、井上 丹、内海利男、大野睦人、
坂本 博、塩見春彦、志村令郎、谷 時雄、松藤千弥

役員： 太田成男、河合剛太、正木春彦、谷 時雄、武藤あきら、吉久 徹、
渡辺公綱（会長）

オブザーバー：中村義一

欠席者： 鈴木 勉

1. 開会挨拶（渡辺会長）
2. 活動報告など（庶務代理・井上（邦）評議員）
 - ・新旧役員リスト（前回の会報で報告済み）
 - ・会員数推移報告
 - ・総会成立に必要な会員数（100 人）の確認
3. 国際シンポジウムの会計監査報告（松藤評議員）
野本・上杉第 2 期会計監査による監査の結果、適正であると認められたことが報告された。
4. 2003 年度会計報告・2004 年度予算案（河合会計幹事）
5. 学会ホームページ運営について
学会ホームページは現在谷評議員が維持管理を行っているが、今後の担当者や運営方法について検討していくこととなった。
6. 第 6 回年会準備・開催状況について（谷集会幹事・評議員）
年会が順調に運営されていることが報告された。
7. 第 6 回総会議長・副議長の推薦
総会議長に武藤あきら氏、副議長に堀弘幸氏を推薦することとした。
8. 第 7 回年会について（武藤集会幹事）
第 7 回年会の準備状況について説明があった。
9. 第 8 回年会世話人（第 4 期集会幹事）の推薦
第 8 回年会世話人を塩見春彦評議員に依頼することとなった。
10. 学会事務センター不祥事の報告および業務委託先見直し（河合会計幹事）

学会事務センターの状況が逼迫していることから、今後の業務委託先見直しを含め、迅速に対応する方針となった。

(庶務幹事代理：井上邦夫)

役員会関連追加資料 <クバプロへの事務委託について>

日本 RNA 学会は、(株)クバプロと、2004年10月1日に事務委託の契約を結びました。主な委託内容は、

- (1) 会員管理 (会員名簿の整理・保管、住所変更等)
- (2) 会費管理 (会費請求と入金確認等)
- (3) 会報発送
- (4) その他学会の運営に関する事務一般

となっております。契約期間は2006年3月31日まで、その後は2年ごとに契約を延長していく予定です。事務経費についても、学会事務センターよりも低く押さえられる見込みです。主要な変更点は次の3つです。

【会費の取り扱い】

会員から納入される会費は、すべて学会側(会計幹事)で管理している会費納入専用口座に定期的に送金していただくことにしました。業務代金は、請求に従って学会側から別途支払います。会費と委託代金の処理を明確に分離することによって、学会事務センターのときのような不透明さがなくなりました。

【入会および登録内容変更】

Web 入力が可能となりました。RNA 学会のホームページからクバプロの管理するページへリンクが張っております。

【事務局連絡先の変更】

事務局連絡先は下記の通りです。

日本 RNA 学会事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-15

UEDA ビル 6F (株)クバプロ内

TEL : 03-3238-1689

FAX : 03-3238-1837

E-mail : rnaj@kuba.co.jp

(会計幹事：河合剛太)

日本 RNA 学会 第 6 回総会報告

日時： 2004 年 8 月 5 日（木）午後 5 時 40 分～午後 6 時 30 分

場所： 熊本テルサ テルサホール

1. 開会挨拶（渡辺会長）

2. 議長・副議長の選出

総会議長に武藤あきら氏、副議長に堀弘幸氏を選出した。

3. 議長・副議長の挨拶

4. 総会成立の確認（議長）

出席者数 189 名（委任状 26 通含む）であり、総会が成立していることが確認された。

5. 活動報告など（庶務幹事代理井上（邦）評議員）

6. 2003 年度国際シンポ会計報告（松藤評議員）

7. 2003 年度収支決算報告・2004 年度（今年度）予算案（河合会計幹事）

2003 年度の会計収支決算報告が行われた。すでに会計監査により適正な予算執行と認められたことが確認され、収支決算報告を承認した。続いて、2004 年度の会計収支予算案が提出され、これを承認した。

8. 日本学会事務センターの不祥事についての報告（河合会計幹事）

本会の学会業務を委託していた日本学会事務センターの不祥事の発覚に対し、事後の対策、業務委託先の見直しが執行部を中心に図られることが提案され、承認された。

9. 年会世話人の挨拶（谷集会幹事・評議員）

多数の参加・発表者を得て、年会在順調に運営されていることが報告された。

10. 来年度年会について（武藤集会幹事）

次回年会は、弘前大学（青森県弘前市）において 2005 年 8 月 9 日から 11 日にかけて開催予定であることが報告された。

11. その他

総会出席者より、遠隔地での年会開催時について、旅費支援等の配慮を求める意見が出された。

（庶務幹事代理：井上邦夫）

第7回 RNA ミーティング（第7回日本 RNA 学会年会）の 準備状況について

第7回 RNA ミーティングを2005年8月9日（火）から11日（木）の予定で、弘前大学創立50周年記念会館にて開催致します。また、8月8日（月）には海外からの招待講演者を交えて、文部科学省特定領域研究「RNA 情報発現系の時空間ネットワーク」公開シンポジウムを同じ会場で連携開催する予定です。準備委員一同、昨年同様に活気あふれる年会開催を目指していますので、どうぞ、ふるってご参加くださるようお願い致します。

【大会中、大会前後の日程】

文部科学省特定領域研究

「RNA 情報発現系の時空間ネットワーク」公開シンポジウム

会期： 2005年8月8日（月）午後

会場： 弘前大学創立50周年記念会館

第7回 RNA ミーティング（第7回日本 RNA 学会年会）

会期： 2005年8月9日（火）～11日（木）

会場： 弘前大学創立50周年記念会館

（ポスター発表は別会場になる予定です）

懇親会：2005年8月10日（水）夜 於弘前パークホテル

（集会幹事：武藤あきら）

2003 年度日本 RNA 学会収支決算報告書

2003 年度（2003 年 4 月 1 日～2004 年 3 月 31 日）の学会会計収支決算は以下のようになりましたのでご報告いたします。

（2003 年度会計幹事：河合剛太）

収入の部

科目	予算額	決算額	備考
学会費	1,232,000	1,827,500	一般会員 1,342,000
賛助会費	660,000	390,000	学生会員 318,000
			海外会員 31,500
預金利子	100	14	入会金 136,000
収入小計	1,892,100	2,217,514	
前年繰越金	2,054,954	2,054,954	
合計	3,947,054	4,272,468	

支出の部


科目	予算額	決算額	備考
事業費	2,230,000	366,815	
年報発行	180,000	174,815	No.8 No. 9
年会補助金	2,000,000	0	全額返金された
ホームページ関連費	50,000	49,000	
その他	0	143,000	シンポジウム封筒, 謝金等
評議員費	160,000	0	
旅費・会議費	150,000	0	
その他	10,000	0	
業務委託費	536,000	684,689	(財) 日本学会事務センター
一般事務費	490,000	482,196	
印刷費	80,000	21,262	印刷・コピー代等
通信費	250,000	354,643	会報・請求書・委任状発送費
庶務事務費	130,000	84,819	会員情報FD 作成等
雑費	30,000	21,472	払込手数料・会誌保管料
予備費	100,000	0	
支出小計	3,516,000	1,533,700	
次年度繰越金	431,054	2,738,768	
合計	3,947,054	4,272,468	

監査報告書

日本RNA学会
会長 志村令郎 殿

平成16年7月9日

会計監査委員 上杉晴一 

野本明男 

2003年度日本RNA学会会計報告書について関係書類とともにその内容を慎重に監査した結果、正当であることを認めます。

2004 年度収支予算

2004 年度（2004 年 4 月 1 日～2005 年 3 月 31 日）の学会会計収支予算は以下の通りです。

（2004 年度会計幹事：河合剛太）

収入の部

科目	2003 年度	2004 年度	備考
学会費	1,232,000	1,510,250	一般会員会費 1,228,000 (5,000 円×289 名×0.85)
賛助会費	660,000	390,000	学生会員会費 282,000
預金利子	100	100	(2,000 円×188 名×0.75)
収入小計	1,892,100	1,900,350	
前年繰越金	2,054,954	2,738,768	
合計	3,947,054	4,639,118	

支出の部

科目	2003 年度	2004 年度	
事業費	2,230,000	900,000	
年報発行	180,000	150,000	(2003 名簿作成)
年会補助金	2,000,000	700,000	(2003 国際シンポ)
ホームページ関連費	50,000	50,000	
その他	0	0	
評議員費	160,000	160,000	
旅費・会議費	150,000	150,000	評議員会開催
その他	10,000	10,000	
業務委託費	536,000	685,000	
一般事務費	490,000	280,000	
印刷費	80,000	40,000	(2003 評議員選挙)
通信費	250,000	180,000	(2003 評議員選挙)
庶務事務費	130,000	30,000	(2003 評議員選挙)
雑費	30,000	30,000	
予備費	100,000	100,000	
支出小計	3,516,000	2,125,000	
次年度繰越金	431,054	2,514,118	
合計	3,947,054	4,639,118	

関連ミーティングのお知らせ

文部科学省特定領域「RNA 情報発現系の時空間ネットワーク」

第3回サテライトミーティング

－ RNA 情報発現系の仕組みと制御 －

今年も、特定領域「RNA 情報発現系の時空間ネットワーク」主催の若い RNA 研究者のためのサテライトミーティングを開催いたします。若い人達で RNA 研究について思う存分議論できる、そして新たな RNA 研究発展の糸口を見出せる場にしたいと思います。PI の方々に加え、最前線で RNA のサイエンスを展開している大学院生、ポスドクの皆さん、是非、ご参加ください。

日時： 2005 年 5 月 9 日（月）～11 日（水）

場所： リゾートパラデュー夢(〒518-0222 三重県伊賀市寺脇町 721)

コーディネーター： 塩見美喜子（徳島大学）、吉久徹（名古屋大学）

問い合わせ： 塩見美喜子

徳島大学ゲノム機能研究センター

TEL: 088-633-9490 FAX: 088-633-9451

E-mail: siomim@genome.tokushima-u.ac.jp

吉久 徹

名古屋大学物質科学国際研究センター

TEL: 052-789-2950 Fax: 052-789-2491

E-mail: tyoshihi@biochem.chem.nagoya-u.ac.jp

HP : <http://biochem.chem.nagoya-u.ac.jp/~tyoshihi/RNAindex.htm>

日本 RNA 学会入会勧誘の御案内

ヒトのゲノムにコードされた遺伝情報の半分はタンパク質をコードしないノンコーディングRNAであることが明らかとなり、これらは発生や分化、または疾患など高次生命現象に深く関わる重要な役割を演じていることが次第に明らかになりつつあります。また、RNA 干渉、リボザイム、リボスイッチ、アプタマーなど、RNA 工学の研究は創薬研究を含めた生命科学におけるあらゆる分野と融合し新しいテクノロジーとして大きく発展しつつあります。

日本 RNA 学会(会長:渡辺公綱、<http://www.soc.nii.ac.jp/rnaj/index.html>)では、こうした世界的な RNA 研究の潮流の中で、若い研究者や学生の積極的な参加、異分野との融合、民間企業の参加を積極的に歓迎しております。賛助会員(企業)として入会された企業には、特典として、最近の RNA 学会年会の要旨集と、文科省特定領域研究「RNA 情報発現系の時空間ネットワーク」(代表:中村義一)が発行している RNA ネットワークニュースレターを配布いたします。

入会ご希望の方は、次ページの書式をお使いくださるか、下記のサイトに必要事項を記入し、入会申込みを行ってください。折り返し、日本 RNA 学会事務局より会費振込用紙が届きます。

*入会申込はこちらから。

<http://www.kuba.co.jp/cgi-bin/rnaj/tmrmail.cgi>

入会費: 1,000 円

年会費: 一般会員年額 5,000 円

学生会員年額 2,000 円

賛助会員年額一口 30,000 円(入会金は不要)

[入会申込先]

日本 RNA 学会事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-15

UEDA ビル 6F (株)クバプロ内

Tel: 03-3238-1689 Fax: 03-3238-1837

E-mail: rnaj@kuba.co.jp

[お問い合わせ]

日本 RNA 学会本部

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学工学部 5 号館

東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻

鈴木 勉 気付

E-mail: ts@chembio.t.u-tokyo.ac.jp

(庶務幹事: 鈴木 勉)

送付先：日本 RNA 学会事務局
 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-15 UEDA ビル 6F (株) クバプロパ
 Tel：03-3238-1689 Fax：03-3238-1837 E-mail：rnaj@kuba.co.jp

日本 RNA 学会 入会申込書

申込日：平成 年 月 日

フリガナ	
氏名	
会員種別	[一般会員 ・ 学生会員] を○で囲んで下さい。
連絡先	[現住所 ・ 所属機関] を○で囲んで下さい。
所属機関 名称	
連絡先	〒
	TEL 内線 FAX
	E-mail

※ 会員番号 - - ()
 ※ 入会登録日 - - ()

郵便振替口座

名義：「日本 RNA 学会」

口座番号：00180-4-354263

銀行口座

三井住友銀行 飯田橋支店

名義：日本 RNA 学会 代表 渡邊公綱

口座番号：6722136

入会金：¥1,000

一般会費：¥5,000

学生会費：¥2,000

日本 RNA 学会 会報

第 11 号 (2005 年 2 月)

発行・製作：日本 RNA 学会 編集幹事

連絡先：名古屋大学

物質科学国際研究センター 吉久 徹

〒464-8602 名古屋市千種区不老町

電話：052-789-2950 (直通)

FAX：052-789-2491

E-mail：tyoshihi@biochem.chem.nagoya-u.ac.jp